



PS/2

## MA-50PSシリーズ

最初に  
ご確認ください。

セ  
ッ  
ト  
内  
容

スクロールマウス..... 1台  
取扱説明書 ..... 1部

本取扱い説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。  
最新の情報は、当社Web(<http://www.sanwa.co.jp/>)をご覧ください。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがございます。  
本誌に記載の社名及び製品名は各社の商標又は登録商標です。

サンワサプライ株式会社

## 目次

1	目次
2	はじめに
3	警告 ・テレビ/ラジオの受信障害について ・注意
4	対応機種
5	接続する前に必ずお読みください。 ・内蔵ポインティングデバイスの切り離し
6	マウスの接続
7	本製品の使用方法 ・左ボタン・右ボタン ・ホイール(スクロール) ・ホイールボタン(スクロールボタン) ・ズーム
8	メンテナンス

## はじめに

このたびは、スクロールマウスをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。本製品はマウスのホイールボタン(スクロールボタン)を回転、クリックさせるだけで、Windows上で簡単に画面スクロール等が行えます。

またMicrosoft IntelliMouse機能に対応していますので、MS Office 97のようにIntelliMouse機能をもっているアプリケーションであれば、幅広いナビゲーション(スクロール、クイックスクロール、オートスクロール、データズームなど)が行えます。

ご使用前にこのマニュアルをよくお読みください。また、お手元に置き、いつでも確認できる様にしておいてください。



## 警告

### テレビ/ラジオの受信障害について

本製品は、FCCの定めるクラスBのコンピュータ機器に対する許容条件につき、所定の審査の上、FCC-15章の規定内容に適合するものとして認定されています。FCC-15章は居住環境において防止すべき受信障害の規制基準を定めたものですが、装置の設置状況によっては受信障害が発生する場合があります。

ご使用のコンピュータシステムが受信障害の原因となっているかどうかは、そのシステムの電源を切ることでご確認いただけます。電源を切ることにより受信障害が解消されれば、ご利用のコンピュータ、あるいは、その周辺装置が原因であると考えられます。

ご使用のコンピュータシステムがテレビやラジオの受信状態に影響している場合、以下の手順のいずれか、あるいはいくつかを組み合わせることでお試しください。

テレビまたはラジオのアンテナの向きを変え、受信障害の発生しない位置を探してみてください。

テレビまたはラジオから離れた場所にコンピュータを設定し直してください。

テレビまたはラジオとは別の電源供給路にあるコンセントにコンピュータを接続してください。

状況に応じ、テレビ/ラジオの修理業者またはマウスの販売店にもご相談いただけます。

### 注意

本製品に対し許可しない変更または加工が加えられた場合、FCCの許可が無効とな

## 対応機種

Windows搭載パソコン

各社DOS/Vパソコン、NEC PC98-NXシリーズ、IBM PC、Aptiva、Think Padシリーズパソコン本体にPS/2マウスポートを持つ機種。

(USBキーボードのPS/2マウスポートに接続した場合は、正常に動作しませんので、パソコン本体のPS/2マウスポートに接続してください。)

PS/2接続の場合は、内蔵ポインティングデバイスとの併用はできません。内蔵ポインティングデバイスを使わない様に設定してください。

### 対応OS

Windows XP・2000・Me・98SE 1・98 1・95 1・NT4.0(SP3以降) 1

1 IntelliMouse機能(Office 97など)を持たないアプリケーションでスクロール機能をご使用になられる場合は、当社ホームページ<http://www.sanwa.co.jp/>よりドライバをダウンロードしてください。

機種により対応できないものもあります。

この文章中に表記されるその他すべての製品名などは、それぞれのメーカーの登録商標、商標です。

## 接続する前に必ずお読み下さい。

### 内蔵ポインティングデバイスの切り離し

タッチパッド等のポインティングデバイスは、外付けPS/2スクロールマウスと併用することはできません。代表的な設定の例を下記にて説明しますが、詳細につきましては、パソコン本体のマニュアルをご覧ください。

NEC PC98-NXシリーズ・富士通 FMV-BIBLOシリーズ・SHARP Mebiusシリーズの場合

1. 起動時、NEC ロゴ等が表示されている時に「F2」キーを押してください。
2. 詳細 NXパッドを自動にしてください。

以前の機種では、使用する/使用しないの選択項目になっていますので、「使用しない」にしてください。

ソニー VAIOシリーズの場合

コントロールパネル Notebook Setupにてタッチパッドを使用しないように設定してください。

東芝 Dynabookシリーズの場合

スタート プログラム 東芝ユーティリティあるいは、ハードウェアセットアップ  
ハードオプション ポインティング装置で自動あるいはオフにしてください。

IBM ThinkPadシリーズの場合

ThinkPadユーティリティでトラックポイントを使用しないに設定してください。

## マウスの接続

本製品はPS/2マウスインターフェイスに対応したマウスですので、接続は次のように行います。

接続の際、コネクタには上下がありますので注意してください。

コンピュータの電源を切ってください。

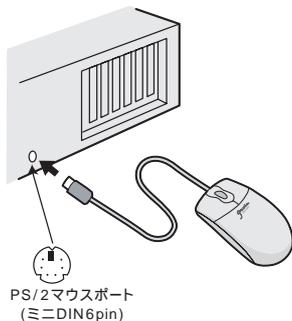
コンピュータに接続されているマウスが他にもあれば、取り外してください。

コンピュータ背面のPS/2マウスポート(ミニDIN6pin)に本製品を接続してください。

接続の際、コネクタには上下がありますので注意してください。

電源を入れWindowsを完全に立ち上げてください。

これでマウスは使えるようになりました。

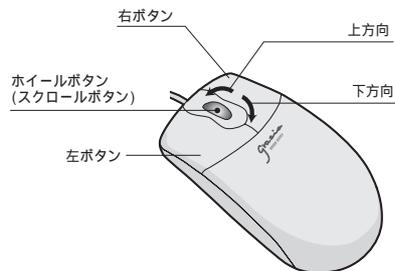


PS/2マウスポート  
(ミニDIN6pin)

## 本製品の使用方法

本製品にはホイールコントロール(ホイールそのものが回転し、スクロールなどの操作が行えます。)機能が付いており、マウスから直接スクロールすることができますので、Windows上でよりマウス操作が楽に行えるようになります。

本製品は、Microsoft IntelliMouse互換機能も持っていますので、MS-OFFICE 97のようにIntelliMouse機能を持っている場合であれば、幅広いナビゲーション(スクロール、オートスクロール、ズームなど)が行えます。



### 左ボタン・右ボタン

左ボタンには通常クリック、ダブルクリックに使われます。また右ボタンはWindowsでのアプリケーションごとに設定されているマウスの動きも行いますし、またポップアップメニューの表示もすることができます。左利きの方などは「マウスのプロパティ」の中「ボタンの選択(B)」で、お好みに合わせて変更可能です。

### ホイール(スクロール)

インターネットやWindows上のドキュメント画面をスクロールさせる際、このホイールを前後に回転させて使います。

## ■ 本製品の使用方法 (続き)

---

### ホイールボタン(スクロールボタン)

インターネットやWindows上のドキュメント画面でスクロールモードを使用する際、このボタンをクリックしマウスを前後左右に少し動かすと自動的に画面がスクロールします。

このスクロールを止めるには、ホイールボタンをもう一度押してください。

### ズーム

ズームはMicrosoft IntelliMouse の通常機能ですので、MS-OFFICE 97用のアプリ

ケーションに対応しています。「ズーム」とはウィンドウ内の倍率を変えることです。

「Ctrl」キーを押しながらホイールを回転させると、ズームが簡単に行えます。

「Ctrl」キーを押しながらホイールをモニター方向に回させると、倍率が上がります。

「Ctrl」キーを押しながらホイールを手前方向に回転させると、倍率が下がります。

## ■ メンテナンス

---

カーソルが正しく動かない場合、下記に従ってマウスの掃除を行ってください。

マウスの掃除をする際は、パソコンの電源を切っておこなってください。

マウスのボールカバーを取り外し、ボールを取り出して掃除してください。

きれいな布でボールの汚れをふき取り、マウスのなかのゴミを吹き出してください。

ローラーが汚れている場合は、綿棒にアルコールを含ませてふき取ってください。

綿棒のかすがローラーについていないかどうかを確認してください。

ボールをもとに戻し、ボールカバーを取り付けて下さい。